

# 一般廢棄物處理施設整備・運營業

## 客觀的評價結果

平成30年9月

香芝・王寺環境施設組合



## 目 次

1	事業概要	1
(1)	事業名称	1
(2)	事業目的	1
(3)	本施設の概要	1
(4)	処理対象物	1
(5)	事業内容	2
(6)	事業者の選定方法	4
2	事業者選定までの経過	5
(1)	審査委員会の設置	5
(2)	審査委員会の開催経過	5
(3)	事業スケジュール	6
3	審査の手順及び方法	7
(1)	参加資格審査	7
(2)	基礎審査	7
(3)	加点審査	8
(4)	入札価格の確認	9
(5)	総合評価値の算定	9
(6)	提案内容の審査項目及び評価ポイント	10
4	審査結果	12
(1)	本組合による審査の報告	12
(2)	加点審査	13
(3)	審査委員会が評価した事項	14
(4)	開札及び総合評価	17
5	落札者の決定	17
6	落札者の事業計画に基づく財政支出の削減効果	17

## 1 事業概要

### (1) 事業名称

一般廃棄物処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）

### (2) 事業目的

香芝・王寺環境施設組合（以下「本組合」という。）では、現在稼働中の一般廃棄物処理施設（ごみ処理施設：ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設）の老朽化が著しいことから、環境省の循環型社会形成推進交付金事業として新たな熱回収施設およびリサイクルセンターの整備を行うものである。建設予定地は現有施設の敷地内であり、現有施設の運転を継続しながら、新たな一般廃棄物処理施設の整備を行う。

### (3) 本施設の概要

全体	建設予定地	奈良県香芝市尼寺 615 番地
	敷地面積	施設整備工事範囲 約 2.5ha
熱回収施設	施設規模	120t/24h (60t/24h×2 炉)
	処理方式	ストーカ方式または流動床方式
	燃焼ガス冷却設備	廃熱ボイラ、減温塔方式等
	排ガス処理設備	集じん器、有害ガス除去装置、無触媒脱硝式または触媒脱硝式等
	通風設備	平衡通風方式
	余熱利用設備	発電（余剰電力は売電）
	排水処理設備	ごみピット汚水：炉内噴霧処理またはごみピットへ導水 プラント排水：排水処理後、循環再利用 生活排水：高度処理型合併処理浄化槽で処理後、放流
	飛灰処理設備	薬剤処理方式
リサイクルセンター	施設規模	10t/5h ・燃えないごみ、粗大ごみ、カン：7t/5h ・ビン、有害資源ごみ：3t/5h※ 【※別途（本工事対象外）ストックヤードを整備予定。ただし、運営は本事業の対象範囲とする。】
	処理方式	破碎・選別・圧縮・保管
その他施設	管理エリア、計量棟、外構施設等	

### (4) 処理対象物

#### ア 熱回収施設

- ・燃えるごみ
  - ・可燃残渣
  - ・災害廃棄物
- イ リサイクルセンター
- ・燃えないごみ
  - ・粗大ごみ
  - ・カン
  - ・ビン
  - ・有害資源ごみ
  - ・災害廃棄物

## (5) 事業内容

### ア 事業方式

本事業は、P F I 法に準じて、事業者が、本組合の所有となる本施設について設計・建設、運営を一括して受託するD B O方式とする。

### イ 契約の形態

- (ア) 本組合と事業者は、基本契約を締結する。
- (イ) 基本契約に基づいて、本組合は、設計企業と建設企業による建設 J V と本事業に係る建設請負契約を締結する。なお、設計企業と建設企業が同一企業である場合は当該企業と建設請負契約を締結する。また、設計企業と建設企業が同一企業でない場合も、建設 J V を設立せずに、プラント担当建設企業が元請けとなり、設計企業及び建屋担当建設企業がその下請けとなる形態も認めるため、この場合は、プラント担当建設企業と建設請負契約を締結する。
- (ウ) 基本契約に基づいて、本組合は、S P C と運営委託契約を締結する。

### ウ 事業期間

事業期間は、次のとおりとする。なお、本施設は、運営開始後 20 年間に加え、さらに 15 年程度に渡って使用する予定である。

- (ア) 設計・建設期間：平成 30 年 11 月から平成 34 年 10 月までの 4 年
- (イ) 運営期間：平成 34 年 11 月から平成 54 年 10 月までの 20 年間

### エ 事業期間終了後の措置

事業者は、事業期間終了時に本施設を本組合の定める明け渡し時における施設の要求水準を満足する状態を保って、本組合に引継ぐものとする。

### オ 事業の対象となる業務範囲

- (ア) 事業者が行う業務
  - ① 事前調査等に関する業務
    - 1) 用地の測量及び、地質調査の追加補完調査業務
    - 2) 各種許認可に係る申請に必要な資料作成支援業務
    - 3) その他これらを実施する上で必要な業務

②本施設の設計・建設に関する業務

- 1) 本施設の設計及び建設（土木・建築・プラント設備・外構工事等、必要なものすべて）
- 2) 搬入道路の整備、電力・水道の引込、電話の引込等
- 3) 建築申請、消防確認等の官公署等申請
- 4) その他これらを実施する上で必要な業務

③本施設の運営に関する業務

- 1) 受付業務
- 2) 運転管理業務
- 3) 用役管理業務
- 4) 維持管理業務（ビン、有害資源ごみストックヤードを含む）
- 5) 余熱利用管理業務（売電収入の管理を除く）
- 6) 運営事業終了時の引継業務
- 7) 清掃業務
- 8) 安全管理業務
- 9) 警備業務
- 10) 施設見学対応
- 11) その他これらを実施する上で必要な業務

④その他の業務

- 1) 交付金の申請手続及び受入に係る申請に必要な資料作成支援業務
- 2) 住民対応（組合が行う対応への支援）

(イ) 本組合が行う業務

①事前調査等に関する業務

- 1) 建設用地の確保
- 2) 地質調査の実施
- 3) 各種許認可の実施
- 4) 環境影響評価の実施
- 5) その他これらを実施する上で必要な業務

②本施設の設計・建設に関する業務

- 1) 本施設の設計・建設工事モニタリング
- 2) その他これらを実施する上で必要な業務

③本施設の運営に関する業務

- 1) ごみの収集、運搬及び搬入
- 2) 売電収入の管理
- 3) 焼却灰の運搬・処分
- 4) 金属等資源の運搬・売却
- 5) 運営モニタリング
- 6) その他これらを実施する上で必要な業務

④その他の業務

- 1) 交付金の申請手続及び受入
- 2) 事業者の費用の支払
- 3) 住民対応（苦情への対応、普及啓発活動の実施、情報発信）
- 4) その他これらを実施する上で必要な業務

**（6）事業者の選定方法**

事業者の選定は、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 10 の 2 の規定に基づく総合評価一般競争入札方式によるものとする。

## 2 事業者選定までの経過

### (1) 審査委員会の設置

事業提案の審査は、構成市町職員及び学識経験者で構成される「香芝・王寺環境施設組合一般廃棄物処理施設整備・運営事業者審査委員会」（以下「審査委員会」という。）において行われた。

審査委員会は、以下の10名で構成される。

#### 【第1回から第3回まで】

児玉 隆夫	大阪市立大学名誉教授
西村 伸也	大阪市立大学大学院教授
鎌田 裕康	香芝市副市長
平岡 秀隆	王寺町副町長
滝村 豊	香芝市総務部長
古川 義富美	王寺町総務部長
堀本 武史	香芝市市民環境部長
浅井 克矢	王寺町住民福祉部長
奥田 芳久	香芝市都市創造部長
渡邊 義明	王寺町地域整備部理事

#### 【第4回から第5回まで】

児玉 隆夫	大阪市立大学名誉教授
西村 伸也	大阪市立大学大学院教授
鎌田 裕康	香芝市副市長
平岡 秀隆	王寺町副町長
滝村 豊	香芝市総務部長
和田 正英	王寺町総務部長
南浦 幸次	香芝市市民環境部長
森田 眞弓	王寺町住民福祉部長
奥田 芳久	香芝市都市創造部長
浅井 克矢	王寺町住民福祉部専門員

### (2) 審査委員会の開催経過

審査委員会は、以下の経過で行った。

回数	日程	主な内容
第1回	平成29年7月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"><li>これまでの経過について</li><li>委員会スケジュールについて</li><li>事業方式について</li><li>実施方針(案)について</li></ul>

回数	日程	主な内容
第2回	平成29年8月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施方針等への質問について</li> <li>・特定事業の選定について</li> <li>・落札者決定基準について</li> <li>・入札図書について</li> </ul>
第3回	平成30年1月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札公告以後の経過報告</li> <li>・審査の進め方の確認</li> </ul>
第4回	平成30年7月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎審査結果の報告</li> <li>・提案内容調書について</li> <li>・提案内容に関する意見交換</li> <li>・ヒアリングで確認すべき事項の抽出</li> </ul>
第5回	平成30年8月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容のプレゼン、ヒアリング</li> <li>・提案書の審査</li> <li>・最優秀提案者の選定</li> </ul>

### (3) 事業スケジュール

実施スケジュールは以下のとおりである。

入札参加者より入札辞退届けが提出されたため、平成30年2月1日に入札不調となり、平成30年5月7日に再公告を行った。

平成29年9月11日(月)	入札公告(入札説明書等の公表)
平成29年9月19日(火)	現地見学会
平成29年9月19日(火)～ 平成29年9月22日(金)	質問の受付(第1回)
平成29年10月13日(金)	質問回答の公表(第1回)
平成29年10月23日(月)～ 平成29年10月27日(金)	参加表明書、資格審査申請書類受付
平成29年11月10日(金)	資格審査結果の通知
平成29年11月20日(月)～ 平成29年11月24日(金)	質問の受付(第2回)
平成29年12月15日(金)	質問回答の公表(第2回)
平成30年2月1日(木)	入札不調
平成30年5月7日(月)	再入札公告(入札説明書等の公表)
平成30年5月21日(月)～ 平成30年5月23日(水)	参加表明書、資格審査申請書類受付
平成30年5月29日(火)	資格審査結果の通知
平成30年6月5日(火)～ 平成30年6月8日(金)	質問の受付
平成30年6月22日(金)	質問回答の公表
平成30年7月5日(木)	提案書の受付(入札)
平成30年8月23日(木)	落札者の決定及び公表
平成30年10月中旬	仮契約締結
平成30年10月下旬	本契約締結

### 3 審査の手順及び方法

#### (1) 参加資格審査

本組合は、資格審査申請書類により、入札説明書に記載した入札参加者が満たすべき参加資格要件について確認し、確認の結果を入札参加者の代表企業に対し通知する。確認できない場合は失格とする。

#### (2) 基礎審査

##### 1) 審査方法

本組合は、入札参加者から提出された入札書類が本書に示す基礎審査項目を満たしているか否かを審査し、その確認の結果を入札参加者の代表企業に対し通知する。

基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、基礎点100点を付与するとともに当該入札書類について加点審査を行う。

#### 【基礎審査項目】

審査対象	審査項目
共通事項	<ul style="list-style-type: none"><li>提出が求められている書類が揃っていること。</li><li>入札書類全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。</li><li>入札書類全体について、指定された構成（項目の構成、ページ数制限等）となっていること。</li></ul>
施設整備に関する事項	<ul style="list-style-type: none"><li>各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。</li></ul>
運営に関する事項	<ul style="list-style-type: none"><li>各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。</li></ul>
事業計画に関する事項	<ul style="list-style-type: none"><li>各様式（「様式集」参照）に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。</li><li>リスク分担について、入札説明書等で示したリスクの分担方針との齟齬がないこと。</li></ul>

### (3) 加点審査

#### 1) 審査方法

審査委員会は、事業者から提案された提案内容について審査を行う。

入札価格以外の提案内容については、下記3)に従い得点化を行う。

#### 2) 審査項目及び配点

加点審査における審査項目及び配点については、本組合が本事業に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定したものである。加点審査においては、設計・建設、運営、事業計画及び入札価格の各審査項目について提案内容を得点化し、得点の合計値を総合評価値とする。

なお、加点審査における各審査項目の配点及び評価の視点については、本組合が本事業に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定した。

【加点審査における審査項目及び配点】

審査項目	配点
1 施設整備に関する事項	15点
(1) 安全・安心・安定的な処理の確保	3点
(2) 環境保全への配慮	3点
(3) エネルギー回収	3点
(4) 周辺環境との調和	3点
(5) その他	3点
2 運営に関する事項	15点
(1) 運営体制	3点
(2) 廃棄物の受入業務	2点
(3) 運転管理業務	2点
(4) 維持管理業務	2点
(5) 環境管理業務	2点
(6) 情報管理業務	2点
(7) その他関連業務	2点
3 事業計画に関する事項	10点
(1) 長期収支の安定性	3点
(2) リスク管理	2点
(3) 地域への貢献	3点
(4) モニタリング計画	2点
合計	40点

#### 3) 提案内容の得点化方法

審査委員会は、提案内容について、別紙に示す項目ごとに評価に応じて得点を付与する。

なお、提案内容の審査項目について、評価の視点ごとに、次の表に示す5段階評価に基づき各委員が個別に評価を行った上、審査委員会における協議により、最終評価を決定する。

評価	判断基準	得点化方法
A	当該審査項目について特に秀でて優れている。	配点×1.00
B	AとCの中間程度。	配点×0.75
C	当該審査項目について優れている。	配点×0.50
D	CとEの中間程度。	配点×0.25
E	当該審査項目について優れていると認められない。	配点×0.00

#### (4) 入札価格の確認

開札を行い、入札書に記載された金額が、入札説明書 Ⅲ 1 (5) に規定する金額の範囲内であることを確認する。

なお、開札の結果、入札書に記載された金額が、入札説明書 Ⅲ 1 (5) に規定する金額を超える場合は失格とする。

#### (5) 総合評価値の算定

審査委員会は、基礎点100点と加点審査の得点を合計し、これを入札価格（現在価値ベース）で除して得た数値を総合評価点として算定する。（桁の調整のために、10の8乗を乗じる。）

さらに、当該総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。なお、総合評価値が同点の場合は、複数の最優秀提案者を選定する。

(算定式)

$$\text{総合評価点} = (\text{基礎点} 100 \text{ 点} + \text{加点審査得点}) / \text{入札価格} \times 10^8$$

(6) 提案内容の審査項目及び評価ポイント

【提案内容の審査項目及び評価ポイント】

審査項目	配点	評価ポイント
1 施設整備に関する事項	15点	ー
(1) 安全・安心・安定的な処理の確保	3点	<p>ア ごみ量・ごみ質の変動への対応として、施設整備面において優れた提案がされているか。</p> <p>イ 災害時の対応として、商用電源停止時の対応、災害廃棄物の受入対応等についての優れた提案がされているか。</p> <p>ウ 長期にわたる安定稼働を実現するために、施設整備面において優れた提案がされているか。</p> <p>エ 事業期間終了後の配慮について優れた提案がされているか。</p> <p>オ その他、安全・安心・安定的な処理の確保について、優れた提案がされているか。</p>
(2) 環境保全への配慮	3点	<p>ア 排ガス・騒音・振動・悪臭・排水等の環境保全対策について、施設整備面で優れた提案がされているか。</p> <p>イ 火災・爆発防止対策について、施設整備面で優れた提案がされているか。</p> <p>ウ 環境保全に関する情報公開について、施設整備面で優れた提案がされているか。</p> <p>エ その他、環境保全について、優れた提案がされているか。</p>
(3) エネルギー回収	3点	<p>ア 発電計画（発電効率、売電電力量、所内負荷の低減）について、優れた提案がされているか。</p> <p>イ 最終処分量の削減について、施設整備面で優れた提案がされているか。</p> <p>ウ 二酸化炭素の削減について、施設整備面で優れた提案がされているか。</p> <p>エ その他、エネルギー回収について、優れた提案がされているか。</p>
(4) 周辺環境との調和	3点	<p>ア 建物デザイン、建物高さについて、周辺環境との調和に配慮した優れた提案がされているか。</p> <p>イ 屋外配置計画・外部動線計画は、安全性、作業性、メンテナンスの容易さ等に配慮した優れた提案がされているか。</p> <p>ウ 屋内配置計画・屋内動線計画は、安全性、作業性、メンテナンスの容易さ等に配慮した優れた提案がされているか。</p> <p>エ その他、周辺環境との調和について、優れた提案がされているか。</p>
(5) その他	3点	<p>ア 仮設計画・施工計画について、優れた提案がされているか。</p> <p>イ 見学者対応・啓発設備について、施設整備面で優れた提案がされているか。</p> <p>ウ その他、施設整備について、優れた提案がされているか。</p>
2 運営に関する事項	15点	ー
(1) 運営体制	3点	<p>ア 組織体制・人員配置計画について、施設の安定的な運転ができる優れた提案がされているか。</p> <p>イ 施設の耐用年数 35 年間を見据えた施設保全計画及び延命化計画について、優れた提案がされているか。</p> <p>ウ 運営期間終了後の事業の引継ぎや対応について優れた提案がされているか。</p>

審査項目	配点	評価ポイント
		エ その他、運営体制について、優れた提案がされているか。
(2) 廃棄物の受入業務	2点	ア 廃棄物の受入が円滑に行えるような優れた計画が提案されているか。また、自動計量システムに関する提案の内容が優れているか。 イ その他、廃棄物の受入業務について、優れた提案がされているか。
(3) 運転管理業務	2点	ア 運転管理値について、環境負荷を低減するための実現可能かつ具体的な安定燃焼運転方法（運転管理値及びその根拠）とその効果について評価する。 イ その他、運転管理業務について、優れた提案がされているか。
(4) 維持管理業務	2点	ア 調達計画、点検・検査計画、補修・更新計画、維持管理計画の内容について、適切かつ優れた提案がされているか。 イ 事業期間終了後の配慮について優れた提案がされているか。 ウ その他、維持管理業務について、優れた提案がされているか。
(5) 環境管理業務	2点	ア 環境保全計画、作業環境保全計画の内容について、適切かつ優れた提案がされているか。 イ その他、環境管理業務について、優れた提案がされているか。
(6) 情報管理業務	2点	ア 情報管理計画、情報管理記録の開示等について、優れた提案がされているか。 イ その他、情報管理業務について、優れた提案がされているか。
(7) その他関連業務	2点	ア 来場者対応、住民対応、清掃等に関する計画の内容について、優れた提案がされているか。 イ その他、運営業務について、優れた提案がされているか。
3 事業計画に関する事項	10点	ー
(1) 長期収支の安定性	3点	ア S P Cの長期収支計画の安定性について、優れた提案がされているか。 イ 不測の事態への対応策について、優れた提案がされているか。 ウ その他、長期収支の安定性について、優れた提案がされているか。
(2) リスク管理	2点	ア リスク管理の基本的な考え方について、優れた提案がされているか。 イ 本事業に伴うリスクの認識と対応策（リスクの内容、負担者、保険活用等）について、優れた提案がされているか。 ウ その他、リスク管理について、優れた提案がされているか。
(3) 地域への貢献	3点	ア 地域の人材活用について配慮された優れた提案がされているか。 イ 地域の企業活用、地域の資材調達について配慮された優れた提案がされているか。 ウ その他、地域への貢献に関する提案について配慮された優れた提案がされているか。
(4) モニタリング計画	2点	ア 運営期間中における、業務実施状況に関する、組合への報告方法及び連絡・体制について、優れた提案がなされているか。 イ セルフモニタリングの項目、実施方法について、優れた提案がなされているか。 ウ その他、組合との協議について優れた提案がされているか。

## 4 審査結果

### (1) 本組合による審査の報告

参加資格審査及び基礎審査について、次のとおり本組合より報告を行った。

#### 1) 参加資格審査

平成30年5月7日(月)に再入札公告を行い、平成30年5月23日(水)までに参加表明書及び資格審査申請書類を受け付けたところ、次の2グループから入札参加の申請があった。

本組合は、参加資格審査にて入札参加資格を有することを確認し、平成30年5月29日(火)に代表企業に対し参加資格結果を書面にて通知した。

なお、通知の際に各グループには、提案書作成にあたって、提案書提出コードを用いるよう通知した。また、審査委員には企業名を知らせずに、加点審査を行うものとした。

提案書提出コード	すみれグループ
グループ名	クボタ環境サービスグループ
代表企業	クボタ環境サービス株式会社 大阪支社
設計企業	クボタ環境サービス株式会社 大阪支社
建設企業(建設)	株式会社松村組 大阪本店 日本土木建設株式会社
建設企業(プラント)	クボタ環境サービス株式会社 大阪支社
運営企業	クボタ環境サービス株式会社 大阪支社

提案書提出コード	さつきグループ
グループ名	神鋼環境ソリューショングループ
代表企業	株式会社神鋼環境ソリューション
設計企業	株式会社神鋼環境ソリューション
建設企業	株式会社神鋼環境ソリューション
運営企業	株式会社神鋼環境ソリューション

#### 2) 基礎審査

平成30年7月5日(木)にすみれグループより提案書が提出され、本組合が基礎審査を行ったところ、基礎審査項目を満たしていることを確認した。

なお、さつきグループからは、平成30年7月5日(木)に入札辞退届が提出された。

## (2) 加点審査

審査委員会は提案書について、平成30年8月17日(金)にヒアリングを実施し、落札者決定基準に基づき技術提案内容の加点審査を行った。審査結果は、次に示すとおりである。

なお、1(2)、2(2)(4)(6)、3(4)については、審査委員の合議による結果、BとCの中間評価となった。

審査項目	配点	すみれグループ
1 施設整備に関する事項		
(1) 安全・安心・安定的な処理の確保	3点	2.250点
(2) 環境保全への配慮	3点	1.875点
(3) エネルギー回収	3点	2.250点
(4) 周辺環境との調和	3点	2.250点
(5) その他	3点	1.500点
小計	15点	10.125点
2 運営に関する事項		
(1) 運営体制	3点	2.250点
(2) 廃棄物の受入業務	2点	1.250点
(3) 運転管理業務	2点	1.500点
(4) 維持管理業務	2点	1.250点
(5) 環境管理業務	2点	1.000点
(6) 情報管理業務	2点	1.250点
(7) その他関連業務	2点	1.500点
小計	15点	10.000点
3 事業計画に関する事項		
(1) 長期収支の安定性	3点	2.250点
(2) リスク管理	2点	1.500点
(3) 地域への貢献	3点	1.500点
(4) モニタリング計画	2点	1.250点
小計	10点	6.500点
合計	40点	26.625点

### (3) 審査委員会が評価した事項

提案について審査委員会が評価した事項を以下に示す。

審査項目	評価した事項
1. 施設整備に関する事項	
(1) 安全・安心・安定的な処理の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ごみ量・ごみ質の変動への対応の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル施設の受入ヤードについて十分な容量を確保</li> </ul> </li> <li>②災害時の対応の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な容量の燃料貯留槽を確保</li> </ul> </li> <li>③長期にわたる安定稼働の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみホッパの耐久性向上</li> <li>・一次燃焼室のクリンカ付着防止</li> <li>・高速回転破砕機に容易に反転・交換できる構造を採用</li> </ul> </li> <li>④事業期間終了後の配慮の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の大規模補修を見据え、必要な重機スペースを確保</li> </ul> </li> <li>⑤その他、安全・安心・安定的な処理の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント設備について、「火力発電所の耐震設計規程」より安全側で設計</li> <li>・長期の納期が必要となる部品について工場に常時在庫を保有</li> </ul> </li> </ul>
(2) 環境保全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>①排ガス・騒音・振動・悪臭・排水等の環境保全対策の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・排ガスの自主規制として、ばいじん、塩化水素、ダイオキシン類、水銀などについて自主規制値を設け、厳しく管理</li> <li>・振動について自主規制値を設け厳しく管理</li> <li>・低空気比運転による排ガス量削減</li> </ul> </li> <li>②火災・爆発防止対策の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・灰押出装置の可燃性ガスの滞留防止</li> </ul> </li> </ul>
(3) エネルギー回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>①発電計画（発電効率、売電電力量、所内負荷の低減）の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電効率は 15.8%を達成する設計</li> </ul> </li> <li>②最終処分量の削減の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤使用量の低減</li> </ul> </li> <li>③二酸化炭素の削減の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種設備を省電力化</li> </ul> </li> <li>④その他、エネルギー回収の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・Low-E 複層ガラス採用による室内冷暖房の効率化</li> <li>・高反射塗料施工による室内温度の安定化</li> <li>・雨水散水による室内温度の安定化</li> <li>・積極的木材活用</li> </ul> </li> </ul>
(4) 周辺環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>①建物デザイン、建物高さ、周辺環境との調和の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物高さや煙突高さを既存施設より抑制</li> <li>・谷側転落防止壁への壁面緑化</li> </ul> </li> <li>②屋外配置計画・外部動線計画の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却、リサイクルの搬入ルートに分けることにより、プラットホーム手前の滞留スペースを確保</li> <li>・メンテナンス車両の待機場所を確保し、動線的に通行の阻害にならないよう配慮</li> </ul> </li> <li>③屋内配置計画・屋内動線計画の提案               <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転員と見学者の通常通行路は交差しないよう配慮</li> </ul> </li> </ul>

審査項目	評価した事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスエレベータから機器各所に向かえるよう動線を配慮</li> <li>④その他、周辺環境との調和の提案</li> <li>・近隣住宅地への太陽光の照り返しに配慮</li> </ul>
(5) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>①仮設計画・施工計画の提案</li> <li>・仮設砂防ダムによる濁水抑制対策を計画</li> <li>・騒音、振動、排水自主基準の設定と遵守</li> <li>②見学者対応・啓発設備の提案</li> <li>・見学者通路を展望エリアとして整備</li> </ul>
2. 運営に関する事項	
(1) 運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織体制・人員配置計画、施設の安定的な運転の提案</li> <li>・総括責任者に所長/副所長の経験者を配置</li> <li>・熱回収施設副総括責任者に所長/副所長の経験者を配置</li> <li>②運営期間終了後の事業の引継ぎや対応の提案</li> <li>・十分な引継ぎ調整・訓練期間の確保</li> <li>③その他、運営体制の提案</li> <li>・代表企業が建設、維持管理、補修に責任を持つ体制構築</li> </ul>
(2) 廃棄物の受入業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①廃棄物の受入が円滑に行えるような優れた計画の提案</li> <li>・動線に交差箇所がないよう工夫</li> <li>②その他、廃棄物の受入業務の提案</li> <li>・代表企業の検査作業員の抜き打ち検査を定期的実施</li> <li>・全車両ナンバーの記録による不適正搬入者の追跡調査確認</li> </ul>
(3) 運転管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①運転管理値について、環境負荷を低減するための実現可能かつ具体的な安定燃焼運転方法等の提案</li> <li>・自主管理基準を厳しく管理</li> <li>②その他、運転管理業務の提案</li> <li>・余剰電力量を安定化</li> <li>・飛灰に含まれる重金属の溶出試験の定期モニタリング</li> </ul>
(4) 維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①調達計画、点検・検査計画、補修・更新計画、維持管理計画の提案</li> <li>・設備管理システムによる相互管理</li> <li>②事業期間終了後の配慮の提案</li> <li>・事業期間に整備工事を実施した協力企業（地元企業）の紹介</li> <li>・設備特性や故障履歴等の管理ノウハウを引継ぎ期間に継承</li> </ul>
(5) 環境管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境保全計画、作業環境保全計画の提案</li> <li>・必要に応じた運転改善計画の検討と設備改造計画を提出</li> <li>②その他、環境管理業務の提案</li> <li>・幹部、抜き打ち、クロス、自主などの多様な安全パトロールの実施</li> </ul>
(6) 情報管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報管理計画、情報管理記録の開示等の提案</li> <li>・書類と電子データ管理徹底</li> <li>・書類の長期保管</li> <li>・排ガス濃度、施設点検整備計画などの情報公開</li> <li>・施設見学会の実施</li> <li>・経営情報の公開</li> <li>②その他、情報管理業務</li> <li>・個人情報（直接搬入者、来場者、見学者等）の管理</li> </ul>
(7) その他関連業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①来場者対応、住民対応、清掃等に関する計画の提案</li> </ul>

審査項目	評価した事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントを押さえた見学者の動線計画</li> <li>・問い合わせ対応マニュアルの整備と訓練の実施</li> <li>・場内及び近隣道路清掃の適宜実施</li> <li>②その他、運營業務の提案</li> <li>・24時間 365日の有人による防犯監視や場内巡視点検</li> </ul>
3. 事業計画に関する事項	
(1) 長期収支の安定性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や災害発生時に一時的な資金不足が生じた場合の、代表企業による劣後融資実行の提案</li> <li>・不測の事態におけるグループ企業のバックアップ体制及びSPC内部留保に関する優れた提案</li> <li>・第三者によるモニタリング提案</li> </ul>
(2) リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク管理の基本的な考え方に関する優れた提案</li> <li>・各段階におけるリスク対応策に関する優れた提案</li> <li>・専門家を活用した付保の提案</li> </ul>
(3) 地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元人材の雇用に関する優れた提案</li> <li>・地域企業の活用に関する提案</li> <li>・大規模災害発生に備えた各種備蓄、地域開催イベントへの参加等の提案</li> </ul>
(4) モニタリング計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務実施状況に関する組合への報告会に関する提案</li> <li>・重層的なモニタリング体制の構築、履行状況チェックリストの作成などセルフモニタリングに関する優れた提案</li> </ul>

#### (4) 開札及び総合評価

平成30年8月17日に開札を行い、入札書に記載された金額が、入札説明書 III 1 (5) に規定する金額の範囲内であることを確認した。

基礎点と加点審査の得点の合計を入札価格（現在価値ベース）で除して総合評価点を算定した。（桁の調整のために、10の8乗を乗じた。）

	すみれグループ (クボタ環境サービスグループ)
①基礎点	100.000点
②加点審査得点	26.625点
③合計(①+②)	126.625点
④入札価格	21,530,000,000円
⑤評価値(③/④×10 <sup>8</sup> )	0.588

以上の結果、審査委員会では、すみれグループを最優秀提案者として選定し、本組合へ答申書が提出された。なお、審査委員会による審査講評を別紙に示す。

#### 5 落札者の決定

本組合は、審査委員会の選定結果を踏まえ、平成30年8月23日（木）にクボタ環境サービスグループを落札者として決定した。

#### 6 落札者の事業計画に基づく財政支出の削減効果

落札者の落札価格に基づき、本事業をDBO事業として実施する場合の本組合の財政支出と本組合が直接事業を実施する場合の財政支出の比較を行った結果、次に示すとおり、現在価値換算で1,115,065千円（10.05%）の財政支出の削減が見込まれる結果となった。

(現在価値換算金額)

①従来方式（公設公営方式）における本組合の財政支出	11,099,763千円
②DBO方式における本組合の財政支出	9,984,698千円
③DBO方式の導入による財政支出の削減効果(=①-②) 【(①-②)÷①×100】	1,115,065千円 【10.05%】

※再公告による事業期間の変更を補正したため、①については特定事業選定時の金額と異なる。

(別紙)

## 審 査 講 評

本事業は、老朽化が著しい現在稼働中の一般廃棄物処理施設（ごみ処理施設：ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設）について、環境省の循環型社会形成推進交付金事業として新たな熱回収施設およびリサイクルセンターの整備を行うことを目的として実施するものである。

当初の入札においては入札不調になったため、再度の入札公告を行ったところ、最終的には1グループからの提案となったが、当該グループの提案は要求水準を十分に満足しており、ノウハウを活かした優れた内容であった。

応募事業者の提案書作成の熱意に対し、多大なる敬意と感謝を申し上げる。

審査委員会では、あらかじめ公表された落札者決定基準に則り、「施設整備に関する事項」「運営に関する事項」「事業計画に関する事項」について厳正かつ公正に審査を行った。その結果、審査委員会では、すみれグループを最優秀提案者として選定した。

今後、香芝・王寺環境施設組合と特定事業契約を締結し長期間にわたり事業を実施していくこととなるが、公共サービスの向上のために、すみれグループには、特に次の事項に十分に留意して事業を実施されることを要望する。

- ・より環境負荷の軽減に努めること。
- ・建設期間、運営期間を通じて、来場者や作業員の安全管理を図ること。
- ・施設整備において、見学者への対応や啓発設備の充実を図ること。
- ・さらなる効率化による安定経営を実現すること。
- ・地元企業への発注について、最大限に配慮すること。

香芝・王寺環境施設組合一般廃棄物処理施設整備・運営事業者審査委員会  
委員長 児玉 隆夫